

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報(2020年9月)

### 【内政】

- タロン大統領は、仏情報誌 Jeune Afrique 紙のインタビューに応じ、ベナンの民主主義、政敵との関係、新型コロナウイルス対策等について語った。(30日、La Nation 紙)
- 29日、独立国家選挙委員会(CENA)は、政党向けに次期大統領選における候補者推薦と政党助成金について説明会を行った。国会議員及び市長による候補者推薦は匿名で行われることが発表された。(3日、La Nation 紙)

### 【外政】

- 23～25日、ルイズ・ムシキワボ・フランコフォニー国際機関事務局長はベナンを訪問し、タロン大統領及びアベノンシ外務・協力大臣らと意見交換を行った。(25日、La Nation 紙)
- 29日、第75回国連総会においてアベノンシ外務・協力大臣は一般討論演説を行い、多国間主義の重要性を強調した。(30日、La Nation 紙)

### 【治安・保健】

- 1日未明、アリボリ県カンディ市において大雨による洪水が発生し、大規模な物的被害が発生した。(3日、Le Matinal 紙)
- 26日、アトランティック県アボメ・カラヴィ市ゴドメ地区においてバイクの盗難を試みていた5人の男と警察との間で発砲事件が起こり、容疑者3名が射殺された。(28日、L'Événement Précis 紙)

### 【経済】

- 18日、津川貴久駐ベナン日本国大使は、草の根無償資金協力事業により建設したアボメ・カラヴィ市ラ・ヴェルデュール中学校の引渡式に出席した。(21日、Le Matinal 紙)
- 18日、デジタル通信・デジタル化省が進める大容量通信ネットワーク整備事業の第2フェーズの工事を請け負うファーウェイ社は、ベナン通信インフラ会社と契約を締結した。着工は2021年の予定である。(25日、La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

### 【内政】

- 1日、2020年国民議会第4特別会期が開会し、3日、2021年度国民議会の運営に関する予算案が可決された。約170億フラン CFA(約34億円)にのぼり、前年度比で22.62%の上昇となる。(4日、La Nation 紙)

- ・ 5日、5年間の公職立候補停止の判決を受けたリオネル・ザンス元ベナン首相は、Radio France International の番組に出演し、綿花生産業の成長や現政権の債務管理について追認する発言を行った。(日、La Nation 紙)
- ・ 11日、ビオ・チャネ計画・開発大臣及びマティス労働・公職大臣らは、労働組合の代表団との協議会を開催した。(14日、La Nation 紙)
- ・ 12日、野党 FCBE 党 (Forces cauris pour un Bénin émergent) の議員らは、ズー県ボイコン市において会合を開催し、次期大統領選について協議した。(14日、La Nation 紙)
- ・ 17日～20日、ウンベジ前国民議会議長及び元首相が党首を務める公認政党 PRD 党 (Parti du renouveau démocratique) は、党創設30周年を祝う大会を開催し、来年3月に予定されているベナン大統領選挙戦に向けた動きを協議した。(16日、La Nation 紙)
- ・ 26日、与党 BE 党 (Bloc Républicain) は、党大会を開催し、同党のイデオロギー及び目指すべき社会像について議論した。(28日、Le Matinal 紙)
- ・ 26～27日、与党 UP 党 (Union Progressiste) は首都ポルトノボ市において、同党所属の大臣、国会議員、市長らの参加の下、党の運営会議を開催し、2021～26年の政府5か年計画の方向性につき議論した。(28日、Le Matinal 紙)
- ・ タロン大統領は、仏情報誌 Jeune Afrique 紙のインタビューに応じ、ベナンの民主主義、政敵との関係、新型コロナウイルス対策等について語った。(30日、La Nation 紙)
- ・ 29日、独立国家選挙委員会 (CENA) は、政党向けに次期大統領選における候補者推薦と政党助成金について説明会を行った。国会議員及び市長による候補者推薦は匿名で行われることが発表された。(3日、La Nation 紙)

#### 【外政】

- ・ 1日、オルトラ通信・郵便大臣兼政府報道官は、津川貴久駐ベナン日本国大使の表敬を受け、両国の関係及び郵便制度について意見交換を行った。(3日、Le Matinal 紙)
- ・ 2日、津川貴久駐ベナン日本国大使は、着任表敬のためヴラヴォヌ国民議会議長を訪問し、二国間関係の展望について協議した。(3日、La Nation 紙)
- ・ 7日、第57回 ECOWAS 首脳会談がニアメにて開催され、アベノンシ外務・協力大臣が出席し、地域統合に向け取り組むことを再確認した。(8日、La Nation 紙)
- ・ 12日、ベナン・ナイジェリア国境閉鎖問題を解決するため、ナイジェリア人の富豪ダンゴテ氏が両国の仲介に動き出したことが仏情報誌 Jeune Afrique により明らかにされた。(18日、L'Économiste 紙)
- ・ 17日、アベノンシ外務・協力大臣は、途上国外相会議(ビデオ会議)に出席し、政府による改革の成果と新型コロナウイルス対策について発言した。(18日、La Nation 紙)
- ・ 23～25日、ルイーヌ・ムシキワボ・フランコフォニー国際機関事務局長はベナンを訪問し、タロン大統領及びアベノンシ外務・協力大臣らと意見交換を行った。(25日、La Nation 紙)

- ・ 29日、第75回国連総会においてアベノシ外務・協力大臣は一般討論演説を行い、多国間主義の重要性を強調した。(30日、La Nation 紙)

#### 【治安・保健】

- ・ 1日未明、アリボリ県カンディ市において大雨による洪水が発生し、大規模な物的被害が発生した。(3日、Le Matinal 紙)
- ・ 8日、ベン駐ベナン中国大使は、新型コロナウイルス対策用に防護用及び手術用マスク、手袋、靴カバー等の医療品をウンパティン保健大臣に供与した。(11日、Le Matinal 紙)
- ・ 14日、脱走兵1名が警察官2名に対し発砲するという事件が発生した。その夜、犯人はアトランティック県トッフオ市において逮捕された。(16日、Le Matinal 紙)
- ・ 17日の新型コロナウイルス感染状況に関する政府発表によれば、累積感染者数は2,280名、治癒者1,950名、死者40名であった。(18日、Le Matinal 紙)
- ・ 世界税関機構の年次報告によれば、偽造薬に関する国際比較においてベナンは99か国中上位13位に位置づけられた。(22日、Le Matinal 紙)
- ・ 19日、共和国警察はクッフオ県アプラフエ市で96.5kg のインド大麻を押収した。取引ネットワークの解明のため関与していた女性へ事情聴取が行われる。(22日、Le Matinal 紙)
- ・ 国家市民保護局は、雨季入りした北部で豪雨が発生していることから、南部の市民に向け最悪の事態を避けるべく事前に洪水被害に備えるよう注意喚起した。(25日、Le Matinal 紙)
- ・ 26日、アトランティック県アボメ・カラヴィ市ゴドメ地区においてバイクの盗難を試みていた5人の男と警察との間で発砲事件が起こり、容疑者3名が射殺された。(28日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 28日、アボメ・カラヴィ大学病院の建設工事の着工式が開催され、ウンパティン保健大臣とナト生活環境・持続的開発大臣らが出席した。(29日、Le Matinal 紙)

#### 【経済】

- ・ 2日、在ベナン日本国大使館の近藤茂参事官は、草の根無償資金協力事業により建設したセメポジ市オクンセメ中学校の引渡式に出席した。(4日、Le Matinal 紙)
- ・ 8日、アベノシ外務・協力大臣は、トロスター駐ベナンドイツ大使との間で、ベナン政府に対する技術・資金協力に関する二つの合意書に署名した。(31日、L'Économiste 紙)
- ・ 9日、在ベナン日本国大使館は、WHO ベナンに対し医療機材運搬及び専門家派遣用の車両を供与した。式典には近藤茂参事官が出席した。(10日、Le Matinal 紙)
- ・ 12日、財務省は2020年第2四半期に5,188の企業が新設されたことを発表した。(15日、Le Matinal 紙)
- ・ 18日、津川貴久駐ベナン日本国大使は、草の根無償資金協力事業により建設したアボメ・カラヴィ市ラ・ヴェルデュール中学校の引渡式に出席した。(21日、Le Matinal 紙)

- ・ 18日、デジタル通信・デジタル化省が進める大容量通信ネットワーク整備事業の第2フェーズの工事を請け負うファーウェイ社は、ベナン通信インフラ会社と契約を締結した。着工は2021年の予定である。(25日、La Nation 紙)
- ・ 22日、マホニー駐ベナン米国大使は、ヌアティン大統領府付国防担当大臣に対し、軍病院向けの新型コロナ対策用医療品を提供した。(23日、La Nation 紙)
- ・ 24日、ベルギー開発協力機関Enabelは、ベナンのパイナップル関連産業にデジタル技術を導入すべく、同分野に関心を示すスタートアップ企業の選定を行った。(25日、Le Matinal 紙)

#### 【文化・その他】

- ・ 2日、国際基準を満たす文化施設の建設を目指すベナン政府は、2つの建築事務所が7つの施設の設計を行うことを閣議で承認した。(3日、Le Matinal 紙)
- ・ 9日、ベナン駐ベナン中国大使及びビコヌ市第3助役は、中国により実施されたコトヌ市のスポーツ施設改修にかかる引渡式に出席した。(10日、Le Matinal 紙)
- ・ 19日、カッポ中等・技術教育・職業訓練大臣は、新学期の開始を目前に控え、モノ県ロコサ市において中学校への5千万フラン CFA(約1千万円)相当の学用品の供与式を行った。(21日、La Nation 紙)
- ・ 28日から新学年の開始に際し、タロン大統領は一年度を無事に過ごせるよう必要な措置を講じることを述べ、新型コロナウイルス予防に努めるよう声明を発表した。(28日、La Nation 紙)